



令和 5 年 度

# 学 校 概 要



岩 手 県 消 防 学 校

## 目

## 次

### I 令和5年度岩手県消防学校教育訓練計画

1 基本方針	1
2 消防職員教育	1
3 消防団員教育	2
4 特別教育	2
5 委託教育等	2
6 教育訓練体系	3
7 教育訓練日程	4
8 教育訓練日数等	5

### II 令和4年度教育訓練実施状況

1 教育訓練実施状況	6
2 年度別・課程別修了者	7
3 消防職員の消防本部別修了者	8
4 消防団員の市町村別修了者	9
5 特別点検講評実施状況	10
6 一日入校・体験学習状況	10
7 現地教育状況	10

### III 消防学校のあらまし

1 所在地	11
2 沿革	11
3 機構・組織	11
4 施設	12

### [参考]

#### 総合防災センターのあらまし

1 所在地等	17
2 開設	17
3 ねらい	17
4 施設の概要	17
5 年度別利用状況	18
6 防災指導車利用状況	19
7 施設案内	20

# I 令和5年度岩手県消防学校教育訓練計画

この計画は、岩手県消防学校教育訓練規則（昭和49年岩手県規則第20号）第2条の規定により、岩手県消防学校において実施する令和5年度の教育訓練計画について定めるものである。

## 1 基本方針

当消防学校の教育訓練は、社会情勢の変化や技術の発展に的確に対応するために、住民の信頼と負託に応えうる消防に必要な見識や技能の効率的かつ効果的な習得を図り、もって適切公正、安全かつ能率的に職務が遂行できる消防職員等の養成に努める。

## 2 消防職員教育

### (1) 初任教育

この教育訓練は、新採用の消防職員として服務義務を理解し、必要な基礎知識や基本的技能の習得とともに、士気の高揚、規律の保持及び体力の錬成を図り、職務を円滑に遂行できる消防職員を養成する。

### (2) 幹部教育

#### ア 初・中級幹部科

この教育訓練は、初・中級幹部職員としての責任及び立場を認識するとともに、消防行政の現状や動向を理解し、組織の管理、災害現場における安全管理を適確にできる消防職員を養成する。

#### イ 上級幹部科

この教育訓練は、上級幹部職員として業務管理、人事管理、危機管理に必要な知見及び職責遂行に必要な判断力を有し、組織を円滑に管理運営できる消防職員を養成する。

### (3) 専科教育

#### ア 警防科

この教育訓練は、警防行政に関する知識、災害現場における消防戦術と安全管理等に係る専門的知識及び技術を習得し、災害現場において安全かつ的確な警防活動ができる消防職員を養成する。

#### イ 火災調査科

この教育訓練は、火災調査業務に係る制度を理解し、与えられた権限を正しく行使するとともに、原因調査、損害調査及び鑑定等の専門的知識・技術を習得し、火災原因の究明に係る的確な判断能力を持つ消防職員を養成する。

#### ウ 救急科

この教育訓練は、救急隊員の行う応急処置等に必要な医学的知識及び技術を習得し、消防法施行令第44条第5項第1号に定める救急隊員を養成する。

#### エ 救助科

この教育訓練は、救助活動における安全管理、災害救助に係る専門的知識及び高度な技能・技術、特殊災害に係る基礎的知識・対処方法等を習得し、災害現場においてこれらを活用した安全・適確な活動を展開できる消防職員を養成する。

### 3 消防団員教育

#### (1) 幹部教育

##### ア 初級幹部科

この教育訓練は、消防団初級幹部としての職責を自覚し、消防団の運営に必要な規律、災害活動要領及び安全管理の重要性について理解するとともに、地域住民に対して防災指導を行うことのできる消防団員を養成する。

##### イ 指揮幹部科現場指揮課程

この教育訓練は、災害時における現場指揮者としての職責を自覚し、大規模災害時における火災防ぎょ活動、水災活動、救助救命、避難誘導・情報収集・伝達に係る的確な現場指揮、安全管理の知識・技術を習得するとともに、自主防災組織等に対して防災指導を行うことのできる消防団員を養成する。

##### ウ 指揮幹部科分団指揮課程

この教育訓練は、分団の指揮者としての職責を自覚し、消防団の管理運営及び活性化に係る知識を習得するとともに、各種災害発生時における分団の管理運営及び効果的な現場活動を行うことのできる消防団員を養成する。

#### (2) 専科教育

##### 警防・機関科

この教育訓練は、消防団員として火災防ぎょ活動に関する専門的知識並びに自動車ポンプ及び小型ポンプの運用技術を習得し、災害現場において中核的な消防活動が遂行できる消防団員を養成する。

### 4 特別教育

#### (1) 無線通信講習

この教育訓練は、消防無線操作に係る知識及び技術を習得するとともに、無線従事者免許（第3級陸上特殊無線技士）を取得させ、無線通信業務に従事する消防職員を養成する。

#### (2) 土砂災害消防活動講習

この教育訓練は、自然災害発生時の基本的活動となる「土砂災害消防活動」に従事することのできる消防職員を養成する。

#### (3) 女性活躍推進講習

この教育訓練は、女性消防職員の強固な「繋がり」の構築を促進するとともに、職域拡大に応じた専門的識見及び技能の習得を促進し、もって総合的な能力開発を図る。

#### (4) 自衛消防隊員講習

この教育訓練は、自衛消防隊員として必要な基礎的識見及び技能の習得を促進し、もって事業所等における防災意識の向上を図る。

### 5 委託教育等

市町村、消防団、婦人消防協力隊、幼・少年防火クラブ等からの要請を踏まえ、消防防災に関する教育訓練を行う。

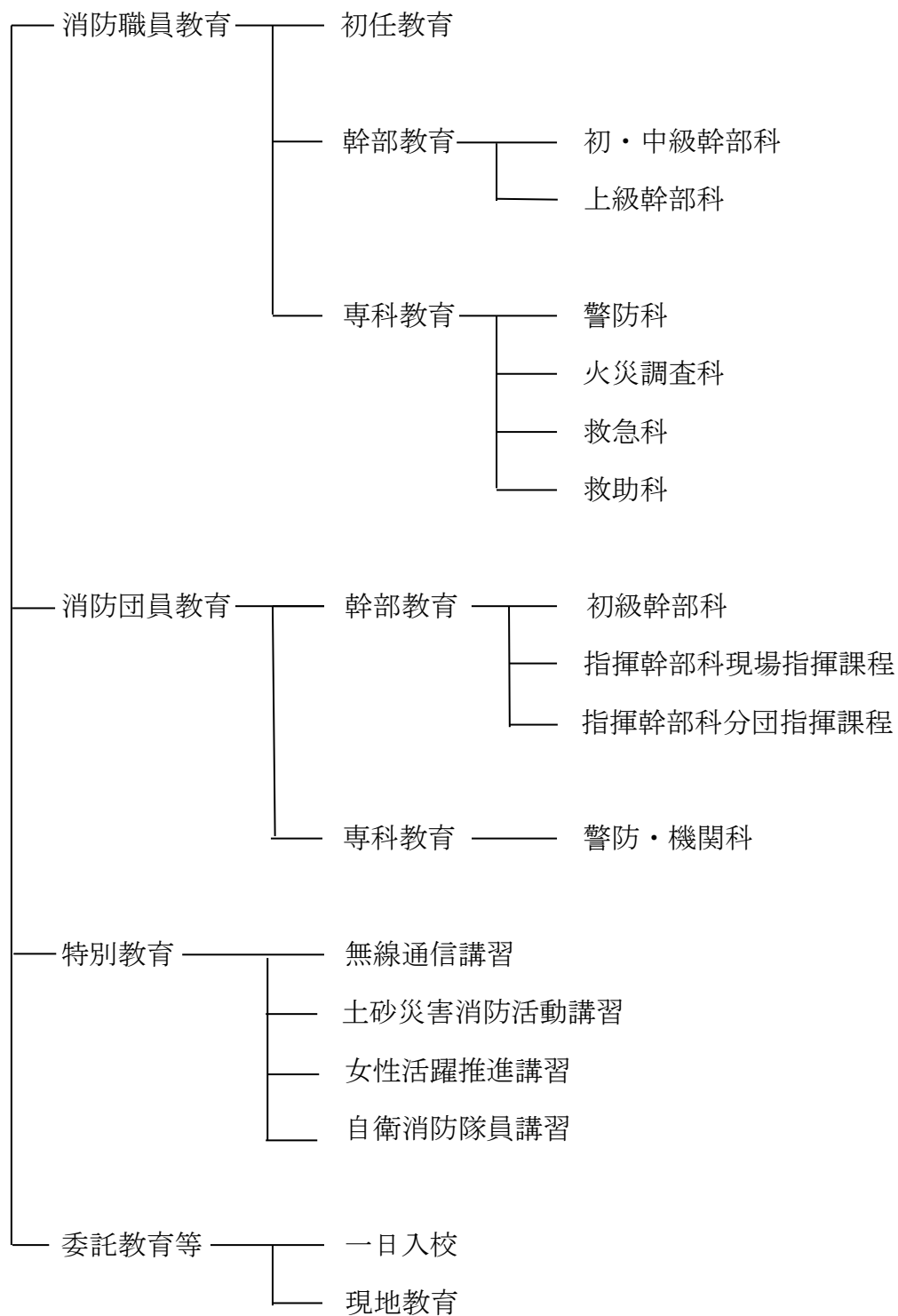
#### (1) 一日入校

消防学校において訓練礼式等の教育訓練を行うほか、防災センターと連携して地震体験や避難体験等を中心とした教育訓練を行う。

#### (2) 現地教育

現地に出向して訓練礼式等の教育訓練を行う。

## 6 教育訓練体系



## 7 教育訓練日程

教 育		教育訓練期間	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	入校定員(人)	
消防 職員	初任教育	4月10日(月)～10月5日(木)	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	—	
	幹部 教育	初・中級幹部科	8月21日(月)～9月1日(金)				■									40
		上級幹部科	12月4日(月)～8日(金)									■				20
	専科 教育	警防科	11月14日(火)～30日(木)								■					40
		火災調査科	10月17日(火)～11月1日(水)							■						40
		救急科	1月18日(木)～3月13日(水)										■	■	■	80
		救助科	10月10日(火)～11月17日(金)							■	■					40
	消防 団員	初級幹部科	11月2日(木)、3日(金)								■					30
		幹部 教育	指揮幹部科現場指揮課程	11月22日(水)、23日(木)								■				40
			指揮幹部科分団指揮課程	12月1日(金)、2日(土)									■			40
専科 教育		警防・機関科	10月13日(金)～15日(日)							■						40
		無線通信講習	8月10日(木)					■								80
特別 教育	土砂災害消防活動講習	11月8日(水)～10日(金)								■					60	
	女性活躍推進講習	12月19日(火)												■	—	
	自衛消防隊員講習	12月11日(月)、12日(火)												■	40	

## 8 教育訓練日数等

教育	教育訓練期間	日数		教育時間	入校定員(人)	入校対象者		
		延	実					
消防職員	初任教育	4月10日(月)～10月5日(木)	179	123	861	-	新採用者又は未教育の者	
	幹部教育	初・中級幹部科	8月21日(月)～9月1日(金)	12	10	69	40	消防司令補又は消防士長の階級にあり、意欲をもって業務に取り組んでいる者
		上級幹部科	12月4日(月)～8日(金)	5	5	33	20	消防司令長、消防司令又は消防司令補の階級にある者(消防司令補の特例を含む)
	専科教育	警防科	11月14日(火)～30日(木)	17	12	84	40	警防業務従事者又はその予定者
		火災調査科	10月17日(火)～11月1日(水)	16	12	82	40	火災調査業務従事者又はその予定者
		救急科	1月18日(木)～3月13日(水)	56	38	264	80	救急業務従事予定者
		救助科	10月10日(火)～11月17日(金)	39	28	194	40	救助業務従事者、特殊災害業務従事者又はその予定者
	消防団員	初級幹部科	11月2日(木)、3日(金)	2	2	12	30	班長の階級にある者
			11月22日(水)、23日(木)	2	2	12	40	班長以上の階級にある者
		指揮幹部科現場指揮課程	12月1日(金)、2日(土)	2	2	12	40	分団長又は副分団長の階級にある者
10月13日(金)～15日(日)			3	3	19	40	警防要員、ポンプ車若しくは小型ポンプの機関要員又はその予定者	
無線通信講習	8月10日(木)	1	1	7	80	無線通信業務に従事する者で従事者免許を所有してない者		
特別教育	土砂災害消防活動講習	11月8日(水)～10日(金)	3	3	19	60	土砂災害活動に従事する小隊長及び隊員(従事する予定の者を含む。)	
	女性活躍推進講習	12月19日(火)	1	1	7	-	女性消防吏員	
	自衛消防隊員講習	12月11日(月)、12日(火)	2	2	13	40	事業所等の自衛消防隊員又は従事予定者	

## II 令和4年度教育訓練実施状況

### 1 教育訓練実施状況

項目 教育種別		教育期間	延日数	実日数	時間	修了者数	備考	
消防職員	第68期初任教育	4月7日(木)～10月6日(木)	183	123	861	56		
	幹部教育	初・中級幹部科	8月17日(水)～30日(火)	14	10	69	31	
		上級幹部科	12月12日(月)～16日(金)	5	5	33	21	
	専科教育	予防総合科	12月6日(火)～23日(金)	18	14	96	27	
		火災調査科	10月18日(火)～11月2日(水)	16	12	82	33	
		救急科	1月16日(月)～3月10日(金)	54	38	264	59	
		救助科	10月17日(月)～11月22日(火)	37	26	180	39	
	小計			327	228	1,585	266	
消防団員	初級幹部科	新型コロナウイルス感染症の感染拡大を防止するため、開催中止						
	幹部教育 指揮幹部科現場指揮課程							
	指揮幹部科分団指揮課程							
	専科教育 警防・機関科							
小計			0	0	0	0		
特別教育	無線通信講習	9月2日(金)	1	1	7	79	初任教育学生含む	
	自衛消防隊員講習	新型コロナウイルス感染症の感染拡大を防止するため、開催中止						
	女性活躍推進講習	10月12日(水)～13日(木)	2	2	13	28		
	土砂災害消防活動講習	11月28日(月)～30日(水)	3	3	19	38		
	小計			6	6	39	145	
合計			333	234	1,624	411		
一日入校		随時	1	1	1	18		
現地教育		随時	1	1	2	70		



## 2 年度別・課程別修了者

教育訓練名	年 度	昭和28～	昭和37～	昭和49年度～令和4年度（矢 巾 校）							合 計 ①+②+③
		36年	48年	昭49～ 平29	平30	令元	令2	令3	令4	小計 ③	
		(内丸校) ①	(高松校) ②								
消防職員	初 任 教 育		607	2,420	49	73	62	53	56	2,713	3,320
	幹 部 教 育	5	24	1,536	57	48	44	53	52	1,790	1,819
	警 防 教 育	47	35	1,258	27		中止	30		1,315	1,397
	特殊災害教育			24						24	24
	予 防 教 育	8	117	1,832	32	60	33	33	60	2,050	2,175
	救 急 教 育		165	3,234	64	63	24	60	59	3,504	3,669
	救 助 教 育			1,445	39	37	39	38	39	1,637	1,637
	現 任 教 育	16	62							0	78
	特別教育※1		172	1,585	44	33	42	95	89	1,888	2,060
小 計	76	1,182	13,334	312	314	244	362	355	14,921	16,179	
消防団員	基 礎 教 育		169	1,079						1,079	1,248
	幹 部 教 育	700	1,231	5,173	108	129				5,410	7,341
	警防・機関教育	897	1,005	2,786	26	18	中止	中止	中止	2,830	4,732
	予 防 教 育	8	403							0	411
	特 別 教 育	824	372	2,737						2,737	3,933
	小 計	2,429	3,180	11,775	134	147	0	0	0	12,056	17,665
消防団員指導員研修 自衛消防隊員講習※2			66	2,460	58	47	中止	中止	中止	2,565	2,631
自主防災リーダー講習				227			中止	中止	中止	227	227
合 計		2,505	4,428	27,796	504	508	244	362	355	29,769	36,702

※1「消防職員／特別教育」の修了者数は、H29年度までは無線通信講習（初任教育を除く。）の修了者数を表す。平成30年度以降女性活躍推進講習の修了者数をこれに加え、令和3年度以降は土砂災害消防活動講習の修了者数を加えて表す。

※2「消防団員指導員研修／自衛消防隊員講習」の修了者数は、平成16年度以降自衛消防隊員講習のみの受講者を表す。

### 3 消防職員の消防本部別修了者

区分 消防本部	令和4年度修了者												過去7年間の修了者							
	初任教育	幹部教育		専科教育					特別教育				計	27	28	29	30	元	2	3
		初・中級	上級	※予防総合	※警防	火災調査	救急	救助	法規講習	※無線講習	女性活躍	土砂災害								
盛岡	18	6	2	6		10	25	10		1	13	6	97	94	105	82	92	95	53	111
一関	6	2	1	2		2	4	2		4	1	2	26	29	28	24	25	30	20	25
宮古	3	3	2	3		3	7	5		3	2	3	34	35	35	28	33	32	31	34
奥州金ケ崎	3	4	3	3		4		4		2	3	3	29	23	25	30	29	27	26	28
花巻	5	2	2	2		2	5	3			2	4	27	24	30	22	24	20	13	29
北上	6	2	2	2		2	2	2		1	2	5	26	24	25	21	18	20	24	27
二戸	1	3		2		2	2	2		4		4	20	16	16	17	17	13	14	24
久慈	5	4	4	3		3	5	4		6	1	2	37	27	30	15	26	24	18	30
大船渡	3		2			1	3	1			1	3	14	12	12	16	14	13	8	12
遠野	3	1	1	1		1	2	2			1	1	13	13	10	10	9	10	10	10
釜石大槌	2	3	1	2		2	4	3		2	2	3	24	23	23	20	19	24	22	25
陸前高田	1	1	1	1		1		1				2	8	5	9	8	6	6	5	9
合計	56	31	21	27	0	33	59	39	0	23	28	38	355	325	348	293	312	314	244	364

※予防総合科と警防科は隔年開講であること。

※無線講習の修了者数欄は、初任教育以外の修了者数であること。

#### 4 消防団員の市町村別修了者

区分 市町村名	令和4年度修了者					過去7年間の修了者							
	基礎教育	幹部			専科	計	27	28	29	30	元	2	3
		初級	現任 指揮 指部 指部 指部 指部	分団 指揮 指部 指部	機警 関防 科・								
盛岡市						5	5	5	6	7			
宮古市						6	7	7	6	5			
大船渡市						3	4	3	4	4			
花巻市						18	22	22	20	23			
北上市						6	5	4	5	5			
久慈市						3	2	6	6	1			
遠野市						8	10	13	6	14			
一関市						21	17	19	21	18			
陸前高田市						4	4	4	3	2			
釜石市							2	3	1				
二戸市						7	4	6	10	8			
八幡平市								9	6	4			
奥州市						12	10	11	5	4			
滝沢市						8	5	6	4	9			
雫石町						12	5	5	5	14			
葛巻町						2	4	2	2	2			
岩手町						2	2	1			中止	中止	
紫波町						11	7	8	10	13			
矢巾町							2						
西和賀町						1	1		1	1			
金ケ崎町						2	3			1			
平泉町							1						
住田町						1	1	1	1	1			
大槌町													
山田町						1	4	1	2	1			
岩泉町						1	1	1	1	1			
田野畑村						2	1	1					
普代村													
軽米町													
野田村						3	3	2	5	2			
九戸村							1						
洋野町						6	6	3	4	7			
一戸町							1						
合計						145	140	143	134	147			

【注】平成25年度以前は「初・中級幹部科」、「上級幹部・指導員科」、「警防・機関科」の各課程で実施

## 5 特別点検講評実施状況

区分	月 日	市町村・団体	内 容	参加者	備考
特別点検	4月29日 (金)	盛岡市消防団	消防演習・講評	消防団員	
		北上市消防団	〃	〃	
	5月22日 (日)	遠野市消防団	〃	〃	
	6月 5日 (日)	宮古市消防団	〃	〃	
	6月12日 (日)	矢巾町消防団	〃	〃	
	8月28日 (日)	西和賀町消防団	〃	〃	
	9月11日 (日)	奥州市消防団	〃	〃	
	10月30日 (日)	一関市消防団、平泉町消防団	〃	〃	
	11月13日 (日)	花巻市消防団	〃	〃	
	計	10 団 体			

## 6 一日入校・体験学習状況

区分	月 日	団 体	内 容	参加者	人員
一日入校	4月 5日 (火)	アルソック岩手(株)	講話 (火災の初期対応)	新採用者	18名
	計	1 団 体			18名

## 7 現地教育状況

区分	月 日	市町村・団体	内 容	参加者	人員
現地教育	2月19日 (日)	釜石市消防団	研修	消防団幹部	70名
	計	1 団 体			70名

### Ⅲ 消防学校のあらまし

#### 1 所在地

〒028-3609 岩手県紫波郡矢巾町医大通二丁目2番1号

電話番号: 019 (697) 3434・3435 FAX: 019 (697) 9293

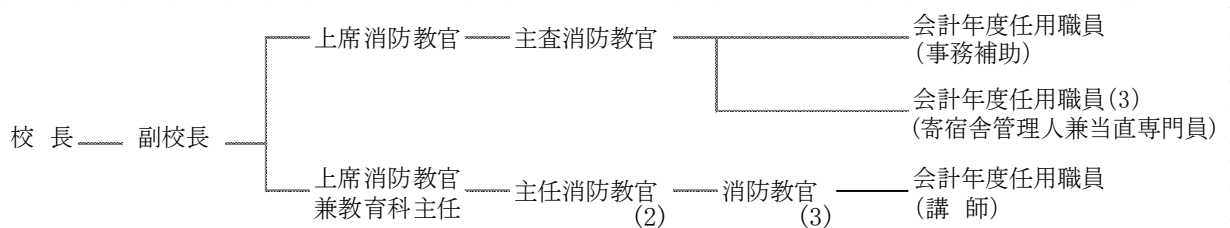
#### 2 沿革

- 昭和28年 2月 盛岡市内丸1番地 旧岩手県女子師範学校校舎の一部に岩手県消防訓練所を設置
- 昭和34年 4月 消防組織法の一部改正により岩手県消防学校と改称
- 昭和37年 7月 盛岡市高松三丁目7番33号に新校舎を建設し、移転
- 昭和49年 3月 紫波郡矢巾町大字藤沢第3地割117番地の1に新校舎を建設し、移転
- 平成5年 3月 消防学校教育訓練基準の改正(平成3年8月5日)により、「救急標準課程」及び「救急Ⅱ課程」の教育訓練を実施するため、救急訓練専用教室を増築
- 平成9年 3月 訓練塔及び補助訓練塔を改築
- 平成14年12月 寮舎の一部を改修し、女子用化粧室を整備
- 平成15年10月 「創立50周年記念式典・記念講演会」等を開催
- 平成19年 4月 女子寮舎を新設
- 平成20年11月 暖房設備の配管老朽化のため、蒸気ボイラーからFF式石油暖房に改修
- 平成22年11月 本館、寮舎、屋内訓練場の屋根及び外壁の全面塗装を実施
- 平成22年11月 浴室の衛生環境を確保するため、浴槽に循環装置を設置するとともに、浴室シャワーの湯量及びシャワー圧確保のためにボイラー改修を実施
- 平成27年 4月 女子寮舎(南側)を増設
- 令和3年 1月 主訓練棟エレベーターの制御盤等を交換

#### 3 機構・組織

(1) 機構 知事 — 復興防災部 — 消防学校

(2) 組織



(3) 職員

区分 \ 職名	校長	副校長	上席消防教官	主査消防教官	主任消防教官	消防教官	小計	会計年度任用職員			小計	計
								講師	兼当直専門員 寄宿舎管理人	事務補助		
県職員	1		1	1			3					3
派遣職員		1	1		2	3	7					7
その他								1	3	1	5	5
計	1	1	2	1	2	3	10	1	3	1	5	15

#### 4 施設

##### (1) 敷地面積

42,044.61 m<sup>2</sup> (校庭有効面積 16,000 m<sup>2</sup>)

##### (2) 建 物

「消防学校の施設、人員及び運営の基準（昭和46年消防庁告示第1号）」別表第1（第3条関係）関係

建 物 名 称	構 造	規 模	建 築 面 積	建物延面積	摘 要
校舎本館 校長室 事務室 第1教室 第2教室 講堂 会議室 理化学実験室 教材展示室 図書室 講師控室	RC造	3階建  64名収容 40名収容	427.70 m <sup>2</sup>	1,325.14 m <sup>2</sup> 40.00 m <sup>2</sup> 80.00 m <sup>2</sup> 140.00 m <sup>2</sup> 80.00 m <sup>2</sup> 190.00 m <sup>2</sup> 72.00 m <sup>2</sup> 120.00 m <sup>2</sup> 72.00 m <sup>2</sup> 36.27 m <sup>2</sup> 32.00 m <sup>2</sup>	
救急訓練教室 講義室（2階） 講師室（資料室） 実習室（1階） 高規格救急車実習室	RC造	2階建 60名収容	270.95 m <sup>2</sup>	504.40 m <sup>2</sup> 139.73 m <sup>2</sup> 24.30 m <sup>2</sup> 162.23 m <sup>2</sup> 76.13 m <sup>2</sup>	平成5年増築
寄宿舍 8人×14室 食堂 談話室 寮直室 舎監室 男子用浴室 女子用化粧室（トイレ、浴室） 女子寮（北） 女子寮（南）	RC造      プレハブ 軽量鉄骨造	2階建 112名収容    3室6名収容 2室4名収容	922.52 m <sup>2</sup> 1室 38.70 m <sup>2</sup>	1,515.64 m <sup>2</sup> 541.80 m <sup>2</sup> 137.00 m <sup>2</sup> 47.70 m <sup>2</sup> 12.00 m <sup>2</sup> 12.00 m <sup>2</sup> 54.00 m <sup>2</sup> 14.90 m <sup>2</sup> 52.14 m <sup>2</sup> 57.47 m <sup>2</sup>	うち和室2室      平成14年12月 平成19年4月 平成27年4月
屋内訓練場	鉄骨モルタル造	一部2階建	900.00 m <sup>2</sup>	1,071.50 m <sup>2</sup>	
訓練塔	SRC造	8階建		719.10 m <sup>2</sup>	
補助訓練塔	SRC造	5階建		308.24 m <sup>2</sup>	
訓練用鉄塔	鉄骨造	3塔			
資機材保管庫	鉄骨造	平屋建	200.00 m <sup>2</sup>	218.75 m <sup>2</sup>	
車庫	鉄骨造 鉄骨造	平屋建 平屋建		240.00 m <sup>2</sup> 220.42 m <sup>2</sup>	
油庫	CB造	平屋建		8.27 m <sup>2</sup>	

##### (3) 教育訓練用設備等

本 館	無線局：基地局 10W、携帯基地局 10 W、陸上移動局 2W×5基
救 急 訓 練 棟	講義室：液晶プロジェクター 実習室：診察ベット（8床）、高規格救急車格納庫付
訓 練 塔	連結送水管、スプリンクラー、自動式安全ネット、簡易避難梯子、斜降式救助袋（5 F、7 F）、垂直式救助袋（4 F）、降下訓練装置（7 F）、ホース乾燥塔2基、煙中検索室、多機能訓練室、マンホール訓練施設、救助ヘリ降下訓練施設、屋上はへり救助隊員降下可、夜間照明施設
屋 内 訓 練 場	消防車進入可能、ロープ渡過・降下訓練施設、屋内消火栓
校 庭	地下水槽（80 m <sup>3</sup> ）1基、地上式消火栓1基・地下式消火栓1基、水防訓練用堤防、ポンプ操法場（10,400 m <sup>2</sup> ）、縦穴・横穴訓練施設、野球場1面

## (4) 主な教材

「消防学校の施設、人員及び運営の基準（昭和46年消防庁告示第1号）」別表第2（第4条関係）関係

専科区分	区分	品名	資器材名	数量	
救助	警防	空気呼吸器	空気ボンベ（鉄）	44	
	警防	空気呼吸器	空気ボンベ（FRP）	39	
	警防	空気呼吸器	酸素ボンベ	7	
	警防	空気呼吸器	空気呼吸器（陰圧式）K2、NK2、KD30	50	
	警防	空気呼吸器	空気呼吸器（陽圧式）A1	5	
	警防	空気呼吸器	空気呼吸器（陽圧式）NM30	31	
	警防	空気呼吸器	空気呼吸器（陽圧式）PSS-90	1	
	警防	空気呼吸器	面体（陰圧）	111	
	警防	空気呼吸器	循環式酸素呼吸器	3	
	警防	救助用資器材	携帯警報器	15	
	警防	救助用資器材	三連梯子	7	
	警防	救助用資器材	大かぎ付梯子	12	
	警防	救助用資器材	ワイヤー梯子	1	
	警防	救助用資器材	平担架	8	
	警防	救助用資器材	バスケット担架	3	
	警防	救助用資器材	バスケットストレッチャー	1	
	実科	破壊器具	大型油圧救助器具	1	
	実科	破壊器具	エンジンカッター	2	
	実科	破壊器具	チェーンソー	6	
	実科	破壊器具	削岩機	1	
	実科	破壊器具	携帯用コンクリート破壊器具	1	
	警防	救助用資器材	可搬式ウインチ	4	
	警防	救助用資器材	展張計	3	
	警防	救助用資器材	張力計	2	
	警防	救助用資器材	マット型エアージャッキ	1	
	警防	救助用資器材	送排風機	1	
	実科	救助用人形	訓練用人形	10	
	実科	その他	訓練用安全マット	15	
	警防	救助用資器材	生物化学テロシャワーテント	1	
	警防	救助用資器材	陽圧式化学防護衣	7	
	警防	救助用資器材	有毒ガス検知管	1	
	警防	救助用資器材	救命索発射装置	1	
	警防	救助用資器材	消防用エアータント	1	
	警防	その他	イーバックチェア	1	
	実科	破壊器具	ハンマドリル	2	
	実科	救助用資器材	熱画像直視装置	1	
	実科	救助用資器材	MPD ツインキット	1	
	実科	救助用資器材	ハーネス	7	
	警防	実科	消防ポンプ自動車	消防ポンプ自動車	10
		実科	消防ポンプ自動車	水槽付消防ポンプ自動車	3
		実科	特殊消防自動車	救助工作車	1
実科		特殊消防自動車	高規格救急自動車	3	
実科		特殊消防自動車	指揮車	2	
実科		放水器具	消防用ホース（65mm）	120	
実科		放水器具	消防用ホース（50mm）	50	
実科		放水器具	消防用ホース（40mm）	15	
実科		放水器具	ウォーターカーテンホース	2	

専科区分	区分	品名	資器材名	数量	
警防	実科	その他	ホース二重巻取機	8	
	実科	放水器具	無反動ノズル（ノズル付）	8	
	実科	放水器具	ノズル（NM-V式）	1	
	実科	放水器具	ノズル（クアドラ式）	10	
	実科	放水器具	ノズル（デュアルマチック式）	2	
	実科	放水器具	ノズル（フリップチップ式）	1	
	実科	その他	小型動力消防ポンプ	2	
	実科	放水器具	ウォーターチャージャー	2	
	実科	放水器具	ディスクストレナー	2	
	実科	その他	角型組立水槽	4	
	実科	その他	火点表示用標的	6	
	実科	放水器具	軽量吸管（小型ポンプ用）	2	
	実科	放水器具	山林火災用背負式消火水のう	39	
	警防	発泡装置	発泡器	3	
	実科	照明器具	信号機付投光装置	2	
	実科	照明器具	信号機付投光装置用コードリール	2	
	実科	照明器具	信号機付投光装置用発電機	4	
	実科	放水器具	二流体消火システム	1	
	予防・査察	査察関係測定器	放射温度計	1	
	予防・査察	査察関係測定器	鑑識用顕微鏡	2	
	予防・査察	査察関係測定器	超音波厚さ計	2	
	実科	その他	発煙機	1	
	実科	その他	エンジン式送排風機	1	
	実科	防火被服等個人装備	防火服及び装備一式	6	
	救急	救急	救急医療器具等	救急資器材用バック	10
		救急	担架	メインストレッチャー	13
		救急	担架	スクープストレッチャー	9
		救急	人工呼吸器用器材	気道管理トレーナー	15
救急		応急処置用資器材	穿刺モデル	2	
救急		救急医療器具等	自動除細動器	4	
救急		救急医療器具等	ベットサイドモニター	4	
救急		人工呼吸器用器材	バックバルブマスク成人	23	
救急		人工呼吸器用器材	バックバルブマスク小児	4	
救急		人工呼吸器用器材	バックバルブマスク乳児	5	
救急		人工呼吸器用器材	新生児用コンプリートマスク	4	
救急		人工呼吸器用器材	吸引器	10	
救急		救急医療器具等	オートパルス	1	
救急		人工呼吸器用器材	デマンドバルブ	10	
救急		人工呼吸器用器材	喉頭鏡セット	20	
救急		応急処置用資器材	止血帯（圧力計付）	5	
救急		担架	バックボード	10	
救急		担架	全身用ギプス	2	
救急		応急処置用資器材	マジックギプス	4	
救急		応急処置用資器材	ショックパンツ	8	
救急		人体模型	気道管理トレーナー（カットモデル）	5	
救急		応急処置用資器材	BLS 訓練用人形（成人）	19	
救急		応急処置用資器材	BLS 訓練用人形（小児）	8	
救急		応急処置用資器材	BLS 訓練用人形（乳児）	20	
救急		応急処置用資器材	分娩介助訓練用人形	2	

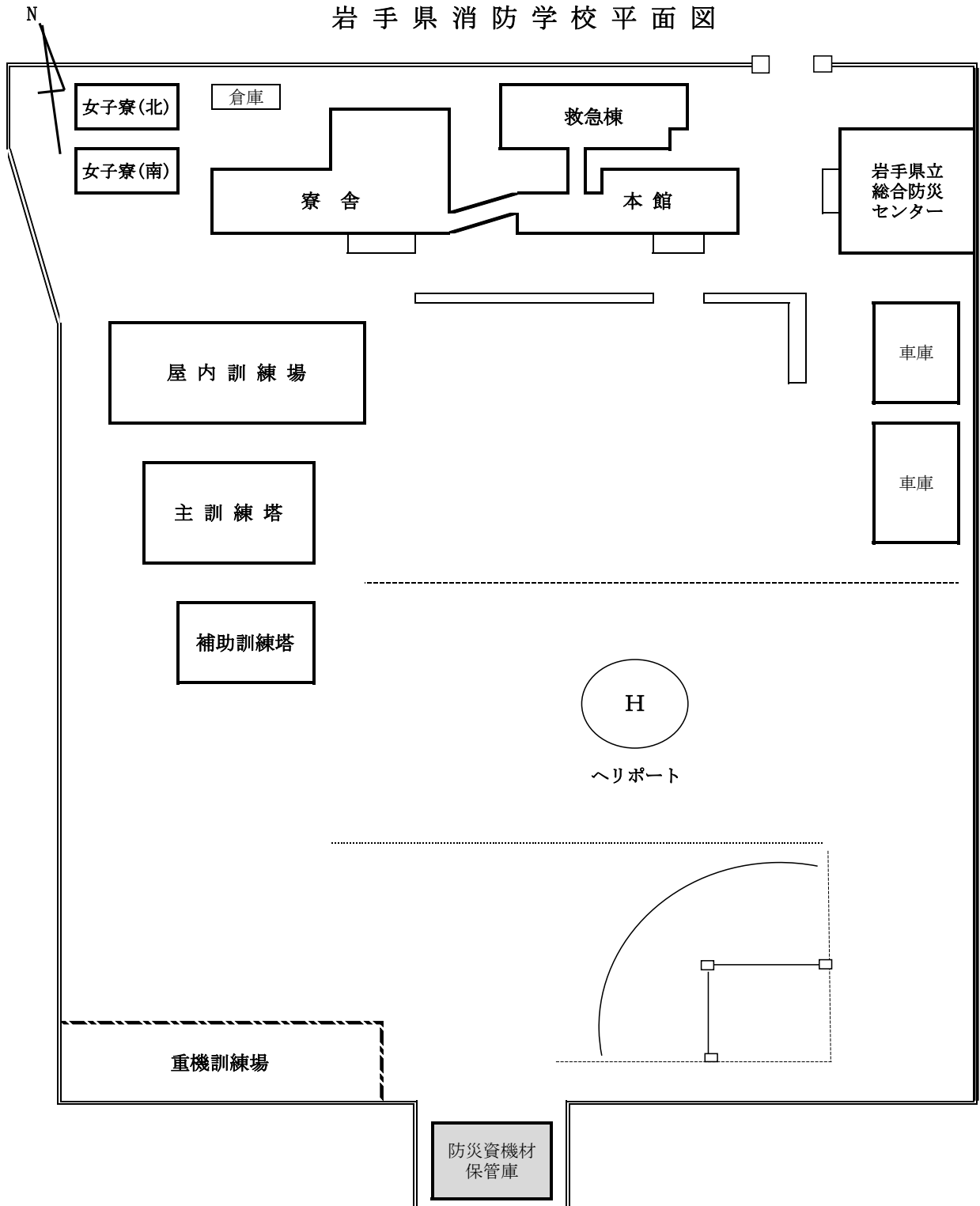


専科区分	区分	品名	資器材名	数量
救急	救急	応急処置用資器材	AED トレーナー	10
	救急	応急処置用資器材	AED トレーナー訓練人形(半身)	10
	救急	救急医療器具等	携帯型モニタリング機能付除細動器	1
	救急	人工呼吸器用器材	ビデオ硬性挿管用喉頭鏡	1

(5) 主な防災資機材

消防学校南側の防災資機材保管庫内で管理

資機材名	数量	資機材名	数量	資機材名	数量
発電機	5機	炊飯装置(小)	16台	飲料水 (ペットボトル500ミリリットル)	21,600 <sup>リットル</sup>
投光機	40機	毛布	1,530枚	空中消火用水のう (700 <sup>リットル</sup> )	8基
給水袋	5箱	チェーンソー	8台	" (1,800 <sup>リットル</sup> )	4基
組立式リヤカー	20台	アルファ米	5,800食	FRT化学消火剤	461缶
オイルタンク	10台	ライスクッキー	2,928食	スケットルトイレ (100回用)	345箱
組立式洋式トイレ	71基	不織布マスク	9,750枚	除菌アルコールジェル	675本
ホスト用専用トイレ	17台	パーテーション	200台	サージカルマスク	54,000枚
非接触式体温計	235台				



## [参考]

### 岩手県立総合防災センターのあらまし

#### 1 所在地等

〒028-3602 岩手県紫波郡矢巾町医大通二丁目2番2号

電話番号 019(697)7741

FAX 019(697)3445

指定管理者 公益財団法人 岩手県消防協会

#### 2 開設

昭和61年4月19日(平成9年3月31日全面改装、平成27年3月31日一部改装)

#### 3 ねらい

岩手県は、これまでに地震、津波、風水害等の自然災害や火災などにより、尊い命と貴重な財産を失ってきました。

岩手県立総合防災センターは、火災時の避難方法や地震体験などを通して防災に対する知識を深め、災害時における対処方法を知ることのできる施設です。

また、この施設に併設している資機材保管庫には被災地に提供できる乾パンや炊飯装置、ろ水機及び消火剤などを常時備蓄しています。

#### 4 施設の概要

(1) 敷地 2,342.14㎡

(2) 建物

ア 総合防災センター RC2階建 建築面積 544.01㎡ 延面積 877.92㎡

イ 消火訓練棟 RC 建築面積 15.75㎡ 延面積 16.65㎡

(3) 概要

総合防災センター

区 分	内 容
防災展示室	災害の発生する仕組みと対策 (パネル展示、非常持出品コーナー、防災DVDコーナー)
地震体験室	過去の大地震の再現と震度4から7程度の地震を体験できる部屋
視聴覚教室	防災に関する講義などを行う学習室
暗闇・煙体験室	暗闇と煙の中の避難訓練
防災シアター	100インチマルチプロジェクションシステムによる防災学習
消火訓練棟	消火器、屋内消火栓等の取扱い訓練

## 5 年度別防災センター利用状況

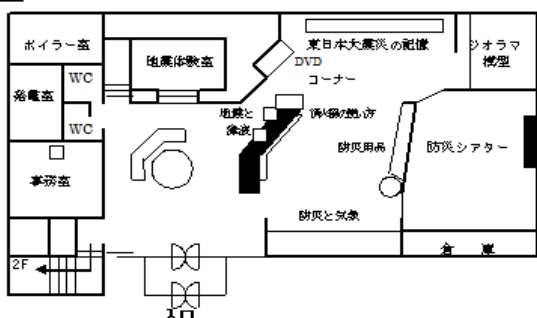
区 分	団体来館		個人来館	計	一日平均
	団体数	人数			
昭和61年度	234	8,336	5,951	14,287	47
昭和62年度	236	8,164	7,843	16,007	50
昭和63年度	211	8,077	8,210	16,287	51
平成元年度	195	6,984	7,317	14,301	46
平成2年度	171	6,462	6,528	12,990	41
平成3年度	211	7,492	7,307	14,799	45
平成4年度	181	7,980	4,065	12,045	37
平成5年度	133	6,388	2,651	9,039	29
平成6年度	112	5,524	2,854	8,378	27
平成7年度	157	5,962	3,099	9,061	29
平成8年度	133	5,564	3,324	8,888	29
平成9年度	215	7,995	4,037	12,032	38
平成10年度	195	7,694	5,936	13,630	44
平成11年度	196	7,868	4,187	12,055	39
平成12年度	200	8,463	3,947	12,410	40
平成13年度	205	7,760	4,328	12,088	39
平成14年度	205	7,512	4,467	11,979	39
平成15年度	192	7,711	3,677	11,388	37
平成16年度	188	7,066	3,759	10,825	35
平成17年度	202	7,412	2,716	10,128	33
平成18年度	203	7,115	3,207	10,322	33
平成19年度	233	7,660	3,447	11,107	36
平成20年度	226	7,765	3,802	11,567	37
平成21年度	219	7,185	3,037	10,222	33
平成22年度	209	7,104	4,114	11,218	35
平成23年度	229	6,438	1,249	7,687	24
平成24年度	197	6,015	3,301	9,316	30
平成25年度	155	5,237	3,771	9,008	29
平成26年度	209	6,709	5,387	12,096	39
平成27年度	208	6,200	4,027	10,227	33
平成28年度	193	6,224	5,165	11,389	37
平成29年度	203	6,132	5,111	11,243	37
平成30年度	199	5,586	5,761	11,347	37
令和元年度	145	4,879	3,946	8,825	29
令和2年度	75	1,549	1,591	3,140	11
令和3年度	79	1,684	1,448	3,132	11
令和4年度	120	2,321	1,679	4,000	15
4月	6	84	104	188	7
5月	7	145	90	235	9
6月	12	273	199	472	18
7月	12	251	262	513	19
8月	7	101	152	253	10
9月	15	275	117	392	15
10月	16	312	167	479	18
11月	20	373	132	505	19
12月	8	186	114	300	13
1月	4	73	92	165	7
2月	1	18	120	138	6
3月	12	230	130	360	13
合 計	6,874	242,217	156,246	398,463	35

## 6 防災指導車利用状況

区 分	利用団体					催事等での 利用日数	体験人員
	市町村	消防	防災センター	その他	計		
平成9年度	2	14	14		30	30	5,779
平成10年度	7	18	15	2	42	34	5,872
平成11年度	9	14	28	7	58	56	8,730
平成12年度	3	17	5	5	30	35	10,700
平成13年度	5	19	7	2	33	42	11,509
平成14年度	6	14	4	2	26	30	6,065
平成15年度	2	26	2	1	31	31	9,853
平成16年度	10	24	4	1	39	39	6,382
平成17年度	15	22	5	4	46	46	9,879
平成18年度	8	18		7	33	33	6,663
平成19年度	9	19		6	34	35	8,283
平成20年度	3	19		7	29	27	5,820
平成21年度	5	27	5	6	43	42	7,247
平成22年度	1	28	2	9	40	44	7,560
平成23年度	2	10	5	6	23	23	5,426
平成24年度	1	20	3	6	30	24	4,866
平成25年度	1	9	5	7	22	17	3,027
平成26年度	1	9	7	5	22	18	3,346
平成27年度	5	10	3	3	21	19	3,022
平成28年度		1	1	1	3	2	264
平成29年度	運行停止						
平成30年度	4	32	2	8	46	44	3,696
令和元年度	3	27	4	1	35	41	7,877
令和2年度	1	8	2		11	11	1,473
令和3年度		16	2	3	21	21	1,399
令和4年度	4	31	1	1	37	38	3,268
4月		1			1	1	190
5月							
6月	1	2			3	3	320
7月		6			6	6	360
8月	1	3			4	4	338
9月	1	4	1		6	4	193
10月	1	6		1	8	9	619
11月		8			8	10	1,228
12月							
1月							
2月							
3月		1			1	1	20
合 計	107	452	126	100	785	782	148,006

# 総合防災センター ご案内

1F



展示物の構成

## 災害を知る

- 火災の時の避難方法
- 消防用設備のはたらき
- 地震と建物
- 東日本大震災津波の記録
- 阪神淡路大震災の教訓
- 防災と気象
- DVDライブラリー
- 災害のつめあと

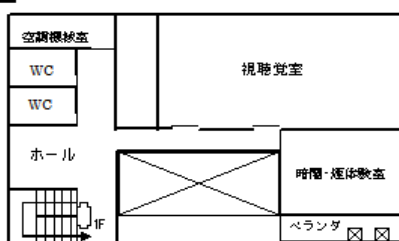
## 災害を体験する

- 地震体験室
- 暗闇・煙体験室

## 災害に備える

- 防災用品のいろいろ
- 消火器の使い方

2F



# 防災体験セミナー

防災センターでは、防災展示コーナーの一般見学や地震体験のほか、次のような体験学習を受講できます。

コース名	学習内容	時間
防災体験コース	災害時及び防災の日ごろの心構えを学習します。 1 講義 2 ビデオ 3 体験学習 (ロープ結索、簡易ローソクの作成等) 4 地震体験 5 展示見学	2 時間
消火コース	各種消火機器による消火方法を学習します。 1 講義 2 ビデオ 3 体験学習 (消火器の使い方、屋内消火栓等) 4 地震体験 5 展示見学	2 時間
避難コース	避難器具体験、各種災害時の避難、誘導方法等を学習します。 1 講義 2 ビデオ 3 体験学習 (煙体験、救助袋等) 4 地震体験 5 展示見学	2 時間
応急処置コース	緊急時の応急手当の方法を学習します。 1 講義 2 ビデオ 3 体験学習 (患者の見方、心配蘇生法、止血法、包帯法等) 4 地震体験 5 展示見学	3 時間
幼児コース	火災や地震の怖さについて体験しながら学習します。 1 ビデオ 2 防災紙芝居・防災カルタ 3 体験学習 (ミニはしご自動車による放水体験) 4 地震体験 5 展示見学	1 時間 30 分 ～ 2 時間
防災総合コース	防災、消火、避難、応急処置コースを網羅した学習を行います。	5 時間

※ 各コースの学習内容及び時間等は、標準的なものです。ご希望のコース、時間等により学習内容を変更して行いますので、お申し込みの際にご相談ください。